(No.07H0206)

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

1．事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2．体験した事例の名称	お寺の建物火災における消火活動中、焼け残った壁体及び梁が崩壊し、消防隊員が下敷きになりそうになった事例
3．体験した事例の中心的要素	お寺の火災で炎上し、屋根の抜け落ちた状態で、壁体の大部分が内側に崩壊していたが、まだ残存していた壁体等が予測に反して外側に崩壊してきた。
4．体験した事例の原因・理由	・　壁体が内側に崩壊すると思い込んでいた。 ・　予兆を感じていなかったため壁体は、すぐには崩壊することはないと思っていた。 ・　これ以上崩壊すると予測していなかった。 ・　夜間で建物状況把握がしにくかった。

【体験した事例の直接的原因について】

1．体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。

【体験した事例について】

1．発生日時	**平成**　19 **年**　5 **月**　5 **日**　　**午後**　9 **時頃**
2．発生した当時の天候	晴
3．発生した活動現場	屋外：建物外壁
4．体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5．事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6．どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	崩壊・倒壊(に巻き込まれる)、
7．事例体験時の活動	火災、現場活動中期、　[木造建物]
8．（7の活動中）どのような作業中に発生したか	放水活動、
9．同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに１，２回程度体験している。

１０．ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者Ａ）

○当事者Ａ	年齢[44]歳、 勤続年数[20]年、 現場経験年数[5] 年、 階級[消防司令]、同様の活動 [１年に数度]、 任務 [複数隊の隊長]
○当事者Ｂ	年齢[43]歳、 勤続年数[25]年、 現場経験年数[20]年、 階級[消防司令補]、同様の活動 [１年に数度]、 任務 [車長]
○当事者Ｃ	年齢[42]歳、 勤続年数[24]年、 現場経験年数[3]年、 階級[消防士長]、同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他 (当事者が４人以上の場合)	

１１．事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過１	焼け残った壁体が	急に外側に崩壊した	
経過２			
経過３			
経過４			
経過５			
経過６			
経過７			
経過８			
経過９			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合　　：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

ａ．あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

ｂ．注意力が欠如していた

・１つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

ｃ．経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

ｄ．心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

ｅ．資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

ｆ．障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

ｇ．行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

ｈ．足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

ｉ．適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

ｋ．関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

ｌ．その他の理由があった。

はい：経験豊富な消防隊員等であり、周囲の状況等から危険はないと思っていたが、実際には予想外の崩壊が起きた。今後は最悪の予想で活動しなければならない。

焼け残っている壁体及び梁

倒壊した壁体及び梁